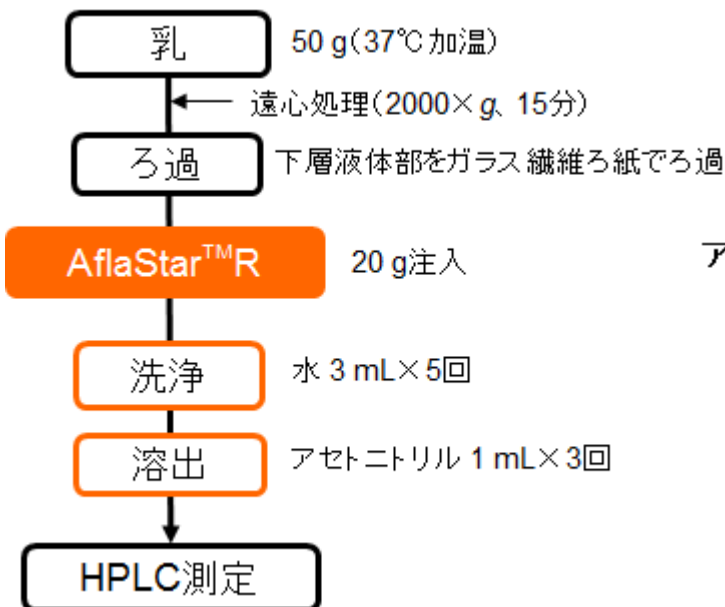


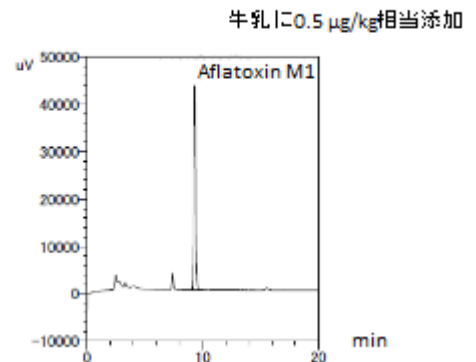
アフラトキシンM₁の試験法(H27年厚生労働省通知法)

1. AflaStar™Rは乳製品中のアフラトキシンM₁のクリーンアップ用のイムノアフィニティカラム。目的のカビ毒のみが特異的に結合するので、簡便にしかも高収率でカビ毒の精製が行うことができる。
2. 乳に含まれるアフラトキシンM₁の試験法(平成27年7月23日付け食安発0723第5号)に準拠している。(事務連絡に掲載)乳中に含まれるアフラトキシンM₁の規制値は0.5 µg/kg。
3. 規制値0.5 µg/kgの1/10の濃度(0.05 µg/kg)を添加した場合でも90 %前後の良好な回収率が得られる。
4. 通液性が良好のため、短い操作時間で精製が可能。

■プロトコル



アフラトキシンM₁のHPLC分析例(AflaStar™R)



牛乳への添加回収(AflaStar™R)

M ₁ 添加濃度	回収率(N=3)
0.5 µg/kg	92 %
0.05 µg/kg	88 %

Column : Shodex® Silica C18M 4E
(4.6 mm I.D. × 250 mm)
Eluent : CH₃CN/H₂O = 25/75
Flow Rate : 1.0 mL/min
Detector : Fluorescence
(Ex: 365 nm, Em: 435 nm)
Column Temp. : 40°C